

私たちの暮らしを まもる カタチ

堤防を守るかたち

私たちの暮らしをまもる堤防。その堤防を守る
構造物があります。

異形ブロック

異形ブロックは、1個で使用されることはなく複数でまとまって使用され、その形はさまざまです。

【異形ブロックの目的】

- 護岸の基礎が水の強い流れで洗い流されることを防止します。

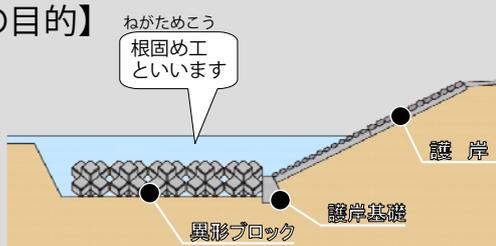


図7.1.1 根固め工の断面

- 川の流れを変えるために使用します。



図7.1.2 導流堤の断面

ここでは、長岡市長生橋のすぐ下流の導流堤を紹介します。



図7.1.3 位置図



図7.1.4 長岡市長生橋下流 導流堤



人と比べると異形ブロックがどれだけ大きいかわかります。

図7.1.5 異形ブロックの大きさ

ブロック張り護岸

コンクリートによる護岸は川の流れにより土砂が洗い流される恐れのある箇所や構造物の周りに設置します。



図7.2.1 流水があたっている状況

このような「かたち」のコンクリート製品を並べて使用します。



これが製品1個です



図7.2.2 ブロック張り護岸の断面

多自然護岸

さまざまな生物や多様な河川景観に配慮した護岸があります。



図7.3.1 施工直後の全景

コンクリートのみの護岸ではなく、生物・環境に配慮したコンクリート護岸を使用し、土砂を上からかぶせることで、植生の生えやすい護岸としました。



これが製品1個です



図7.3.2 施工直後の状況

上から土をかぶせました



図7.3.3 施工後1年3ヶ月後の状況